

・・・九州統括支部普及サポーター育成講座報告・・・

感動のドラマ再び、九州アイランドの奇跡！！

九州統括支部支部長 柴田邦俊

平成30年3月11日福岡市中央区簗子公民館に於いて、北海道に続き全国で2回目となる「普及サポーター育成講座」をS協参事、地域普及小委員会委員長 辻田満氏を講師にお迎えし開催しました。当初29年12月10日に開催する予定で、会場を確保し要項を各クラブに送付。ところが福岡ドームで嵐のコンサートがあるとかでホテルが全く取れない。講師一人であればキャンセル待ちも考えたが、役員を含む8室となると予定が立たない。急きょ日程を3月11日に変更する旨、講師の辻田氏に打診、OKが取れた。そこでホテルの予約、会場の手配、各クラブへ変更通知を出す。受講者はダンサー5名、初心者指導未経験コーラー2名、クラブコーラー5名他にベテランの中守氏含む13名の参加申込みがあった。問題は、SD未経験のモデルダンサー8名をどうやって集めるか・・・でした。幸いにも簗子公民館のバックアップもあって、公民館主事を始め7名の協力者を得ることが出来ました。開催前日、講師の辻田氏から役員9名は、普及サポーターの必要性や今後の取り組みについてレクチャーを受ける。夕食を兼ねた懇親会では、北海道での成功例の話聞きしました。今回は全員が未経験者、さてどうなることやら！ 当日午前中は、北海道と同様、SD協会の現況、普及方策、普及サポーターについての説明等、ジョークを交えながらも熱血あふれる講師の講義がありました。午後からはぶっつけ本番、モデルダンサーを交えての実践講義、全くSDを知らない人に「はたして上手く伝えられるのか、踊ってもらえるのか」受講生の不安そうな顔がうかがえる。通常クラブでは、何人かの経験者がセットの中に入り手伝ってくれるが、今回は違う、手の取り方、セットの作り方等、ひとつひとつ説明しなくてはならない、ましてや自分がやっていることを、他の受講生や役員が観ている前である。モデルダンサーの戸惑いも手に取るようにわかる。受講生が順番でウォークスルーを進め音楽をかけ踊らせる。始めは指導する側とダンサーの意思が通じず、なかなか前に進まない状況だった。1時間ほど過ぎたころから音楽に合わせて踊れるようになってきた、もう一步・・・周りから手拍子が起きる。最後のウォークスルーが終わり、音楽がかかると、モデルダンサーが踊りだす、再び手拍子が始まる、ダンサーに笑顔、笑顔で1コールを踊り切った。奇跡が起きた！未経験者だけのセットでも、踊れる事が実証できた瞬間だ。ダンサーは勿論受講生もスタッフも感動の拍手、拍手。良かれ悪しかれ、今回サポーター育成講座をやってよかったと思う。この体験が受講生によって生かされることを願いつつ、支部でもサポーターの育成に努力して行きたいと思った。最後に今回ご協力頂いた、簗子公民館の関係者の方々にお礼申し上げます。



*受講生からは次のような意見もあった。*モデルダンサーが8人全員未経験者、ぶっつけ本番の実習ではなく、事前に実習の研修（経験者相手に）が有っても良かったのでは。

*共通コースの説明では Forward and Back や Right and Left Grand となっているが、音源では「アッパンバック」や Grand Right and Left とコールされている、たしかに、言い方には個人差（コーラー）がある・・・と説明してあるが、少なくとも体験プログラムだけは、一貫した共通の言い方（コール）であってほしい。（コーラーサイドでなく体験者本位に）

*セットからの Heads(sides) Ladies Chain 及び 4Ladies Chain を入れてもいいのでは。